

帳票仕分けシステム

OpenBOST

Version1.8→3.0

変更内容のご説明

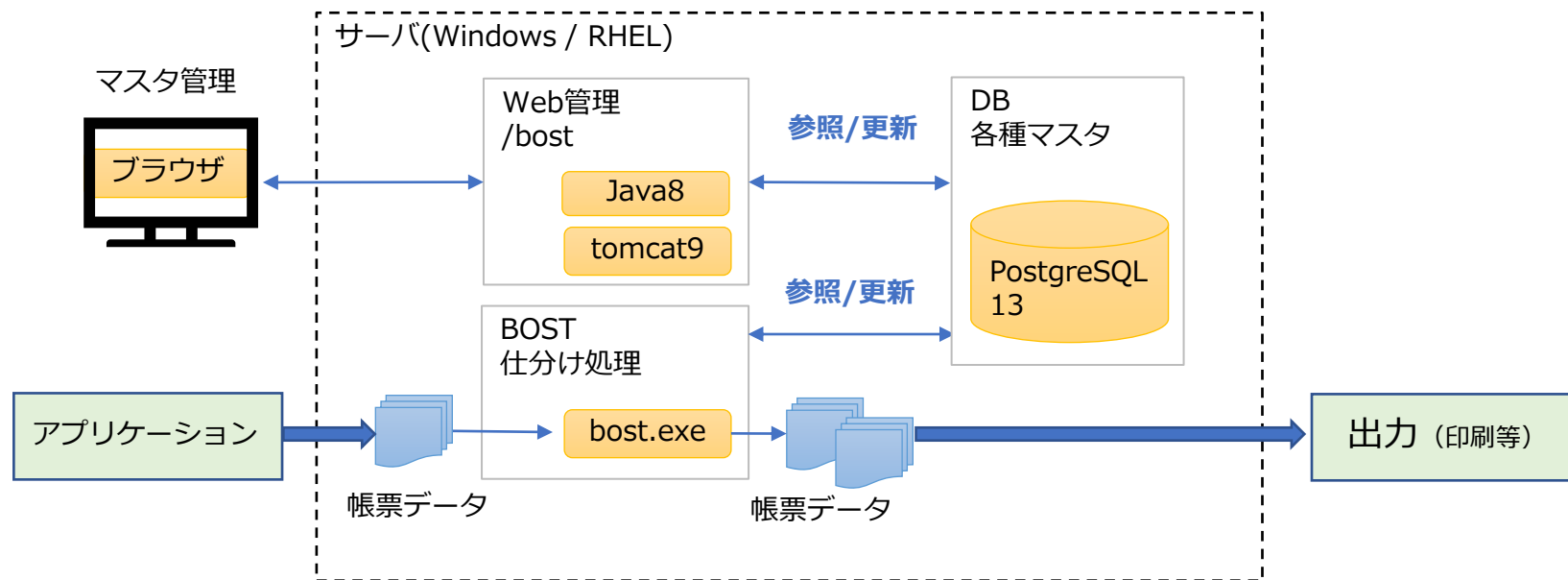
2023年2月

インフォコム株式会社
サービスビジネス事業本部
スマートビジネス部

OpenBOST v3 の主な変更点

基本的な仕分け機能に変更はありません。
以下のシステム構成の変更を行っております。

- ① 内部利用データベースを PostgreSQLに変更
- ② マスタ管理クライアントをWebアプリケーションに変更
- ③ 64bitアプリケーション化
- ④ 対応OSをWindows・Linux(RHEL)に集約 (※RHEL版は2023年度リリース予定)



OpenBOST v3 の変更内容

① 内部利用データベースを PostgreSQLに変更

将来的なメンテナンスの維持、システム運用のしやすさから、オープンソース・ソフトウェア（以下、OSS）である「PostgreSQL」に変更することにいたしました。

※OSSの取り扱いについては、P.6~7「【補足】OSSお取り扱いの注意点」ご参照

v3へのバージョンアップ時はデータベース変更等の環境変更が多いため、安全面を考慮した次の移行方法を推奨いたします。

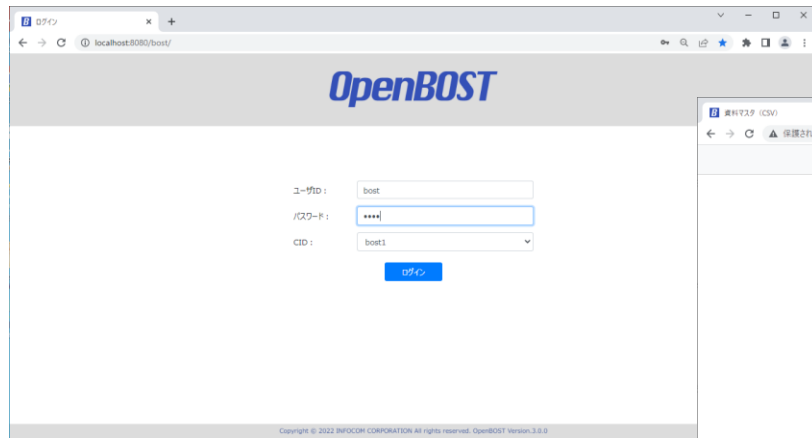
- 現行と別サーバへの移行
- 新旧サーバの並行稼働期間を設けての運用確認

OpenBOST v3 の変更内容

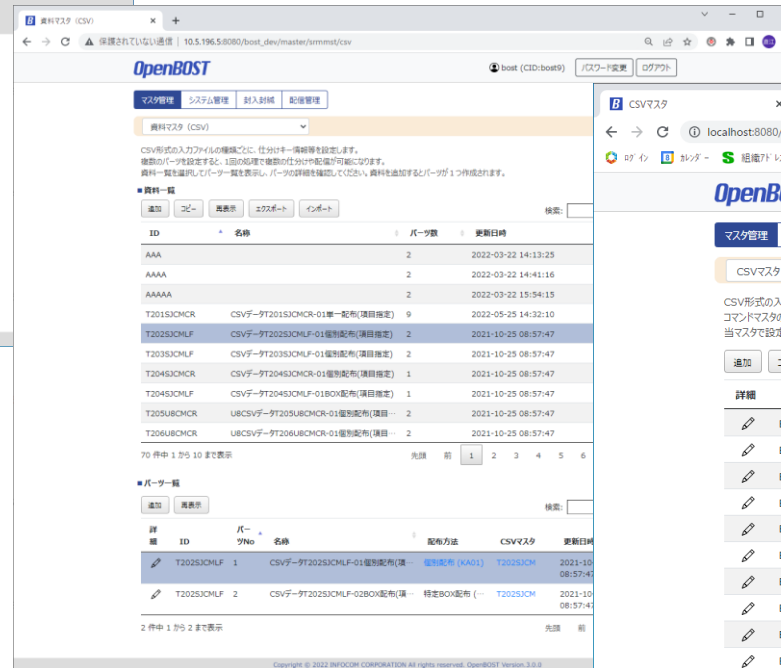
② マスタ管理クライアントをWebアプリケーションに変更

マスタ管理は従来のクライアントモジュールからWebブラウザ経由での管理に変更になります。ブラウザの機能を利用して、画面の拡大や複数マスタの同時編集が可能となります。

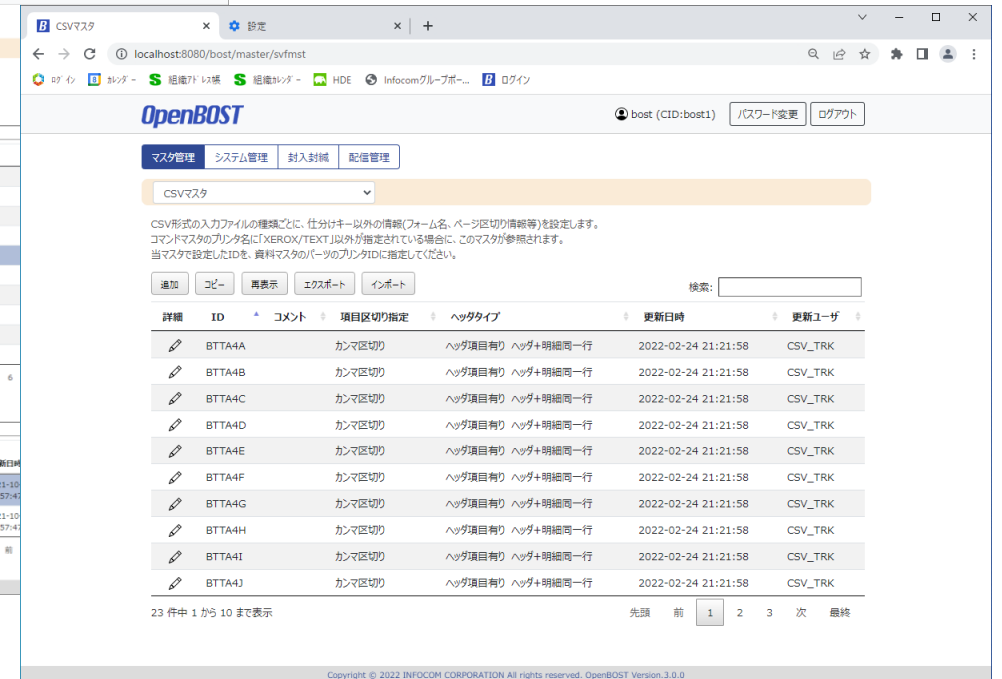
ログイン



資料マスタ



CSVマスタ



OpenBOST v3 の変更内容

③64bitアプリケーション化

64bitアプリケーション化により、サーバスペックを活かした処理速度の向上が図れます。

④対応OSをWindows・Linux(RHEL)に集約

商用UNIX版製品をご利用の場合には、WindowsまたはLinux(RHEL)サーバへの移行をお願いいたします。

OpenBOST v3 のリリーススケジュール

対応OSにより、以下段階的なリリースを予定しております。

Windows版 : 2023年1月リリース済み

Linux(RHEL)版 : 2024年1月予定

注) 変更になる場合がございます。

【補足】OSSお取り扱いの注意点（1/2）

OSS自体の運用・メンテナンスはお客様にてお願いいたします。

- OSS環境は従来のOS環境と同様にお客様にご準備頂きます
- インフォコム製品導入のためのOSS設定値はお客様にお伝えします
⇒ 従来通り、導入作業内での対応は実施致します
- OSSのバージョンアップに対しては、製品サポートとして追隨して参ります
- OSSのバージョンアップ、パッチ適用は、お客様にてご対応頂きます
- 対象のOSSは、PostgreSQL、Tomcat、OpenJDKになります

【補足】OSSお取り扱いの注意点（2/2）

OSSは、サポートサービス契約の対象外になることから、一部改定をさせていただきます。

【改訂内容】

条項タイトル	現契約内容	改定後契約内容
サポートサービス	<p>1. 乙は、乙が甲に使用許諾したソフトウェア・プロダクト(以下本件ソフトウェアという)について、甲に対し次のとおりのサポートサービス（以下本件サービスという）を行なう。</p> <p>（イ）甲からの本件ソフトウェアの使用に関する質問等に対する回答および助言。</p> <p>（ロ）甲による本件ソフトウェア使用に際し発生するトラブルの原因調査、および解決方法等の助言。</p> <p>（ハ）乙が本件ソフトウェアの新バージョンまたは新リリースを発表した場合における甲に対するそれぞれ新バージョンまたは新リリースに関する情報・資料の提供。</p>	<p>1. 乙は、乙が甲に使用許諾したソフトウェア・プロダクト(以下本件ソフトウェアという)について、甲に対し次のとおりのサポートサービス（以下本件サービスという）を行なう。</p> <p>（イ）甲からの本件ソフトウェアの使用に関する質問等に対する回答および助言。</p> <p>（ロ）甲による本件ソフトウェア使用に際し発生するトラブルの原因調査、および解決方法等の助言。</p> <p>（ハ）乙が本件ソフトウェアの新バージョンまたは新リリースを発表した場合における甲に対するそれぞれ新バージョンまたは新リリースに関する情報・資料（本件ソフトウェアの作動環境等に関する情報等を含む）の提供。</p> <p>2. 甲および乙は、本件サービスの対象に本件ソフトウェアが作動する環境および本件ソフトウェア以外のソフトウェア（本件ソフトウェアを作動させるために甲が用意するソフトウェアを含み、以下関連ソフトウェアという）が含まれないことを確認する。</p> <p>3. 甲は、第1項（ロ）のサポートサービスについて、本件ソフトウェア、本件ソフトウェアが作動する環境および関連ソフトウェアのいずれかに問題が生じているのかを調査し、本件ソフトウェアに問題があることを特定したうえで当該サポートサービスの提供を乙に求めるものとする。</p>

契約締結は、現契約の形態に基づき、変更契約（覚書）、新規契約など、お客様個別に対応いたします。

本件お問い合わせ連絡先

インフォコム株式会社
サービスビジネス事業本部
スマートビジネス部
帳票ビジネスユニット担当
岡田・西澤

e-mail: ereport-s@infocom.co.jp